

ひなたぼっこ通信

2017年
1月号

新年明けましておめでと〜いございます

昨年は戦争法にもとづき武器を持って駆け付け警護、TPP法案、年金カット法案、賭博法案など数の力で勝手放題な暴挙に唖然としました。

病院、施設からの追出し、締め出しに加えて高齢者の負担の増大など一層強まっています。

ぼやいては始まりません。地域の皆さんの切実な要望に応えて大きく前進させる年にしたいと決意しています。昨

年からはじめた「助

け合い事業」や「生

活相談会」なども充

実させていきたいと

思います。一層のご

支援ご協力をお願い

致します。

(理事長 森 正明)



生活何でも相談会のお知らせ

(送迎あり。連絡を)
日々の生活の中で困っていることなどの相談会です。お気軽にお越しください。

毎月第3水曜日のいずれも午後2時半〜3時半

1月は18日・2月15日・3月15日

会場はひなたぼっこ本部0266-61-2355(森)

宅幼老所から

「宅幼老所の忘年会」

12月に入り、宅幼老所では忘年会と題しまして鍋パーティーを開きました。調理の方が腕を振るい、味噌ベースの白菜鍋を作ってくださいました。中身は白菜、豚バラ、鶏ささみ、ウィンナー、人参、大根、ネギなど、具たくさんで、利用者様の中にはおかわりをされる方もいらっしゃり、「おいしい!」の音がたくさん聞かれ、アツアツの鍋を囲んで、みなさま身体の芯まで温まりました。



「ボランティア」

宅幼老所には、毎月ボランティア様がいらっしやってくださいますが、今月は宅配ボランティアのみなさまと「星の会」のみなさまが楽しい催しをしに来てくださいました。

宅配ボランティアのみなさまは御柱のお話の紙芝居などをしてください、みなさま聞き入ったり、時には笑われたりされていました。

また、「星の会」のみなさまは、クリスマスということで、サンタさんの帽子をかぶって、キーボ

ードの演奏に合わせてクリスマスにちなんだ歌や、上を向いて歩こうやペチカなど歌ってください、利用者のみなさまも一緒に歌って楽しまれました。

ケアハウスから

「いろいろありました」2階

今年も宜しく申し上げます。昨年を振り返ればいろんなことがありました。御柱・熊本などの地震・オリンピック・・・などなど。利用者のみなさまが、大画面のテレビに映る木落としを見て歓声を上げていらしたことを、つい昨日のように思い出します。ラッパ隊の響き、木遣りの声、巨木が動く様子、どれを見ても聞いても、諏訪人の血が騒ぐのでしょうか。

10月にはケアハウスでも御柱がありました。利用者や家族のみなさま、ボランティアのみなさまが心ひとつに御柱を曳くときの表情は、テレビで見ている時の表情を数段上回るものでした。

花見・運動会・紅葉狩り・たくさんの方のコンサート・・・今年も多くの行事の中で、利用者様の笑顔が沢山ありますように。(一)

「野の風クリスマスコンサート」1階

クリスマス直前の21日にオカリナサークル「野の風」のみなさんが来所して下さいました。コカリナやハンドベル、そしてチェロまで加わって「赤鼻のトナカイ」「ホワイトクリスマス」などのクリスマスソングを演奏して下さいました。ハンドベル体験のコーナーでは、利用者のみな

さまがそれぞれの音階のベルを持ち「キラキラ星」や「聖この夜」の演奏を体験されました。

「はい、次はラーそしてミ！そこそこ！」といった身振り手振りを交えた

熱血指導の指揮者の指揮で、楽しい演奏をしました。クリスマスらしく、みなさんサンタ帽をかぶった「野の風」のみなさんの楽しい演奏会でした。ありがとうございました。(H)



グループホームから

「やっぱり冬はお鍋でしょっ！」「1F

GHでは、12月にオカリナボランティアの方にお越し頂き、素敵な音色を聴きながら皆さんで歌い、楽しい時間を過ごしました。

又、12月23日にはGH1Fで、1年を振り返り感謝の気持ちと新たな年を迎えるにあたり忘年会をしました。ご利用者の方に野菜などを切って頂き、みそしょうゆ味の2種類の煮込みラーメン鍋を作りました。カラオケをした後に「乾杯！」「ラーメンを食べ始めると、「美味しいね。」「体があったまるね。」と心も体もあたたかくなりました。

また一年、笑いの多い年であります様に。「笑ってりゃあいいじゃん。そうすりゃあ栄養になるで。」

「苦労は無にならないで、いいだよ。」

——生活の中で95歳のご利用者の方から頂いた一言です。——

「もちつき大会にて」2F

12月21日の晴天のなか、楽しみにしていたもちつきが始まりました。みなさん暖かい服をまとい、外に出ていただきました。臼と杵を使った昔ながらのもちつきです。

「今は機械でおもちになっちゃうけど、昔はこの家でも、うすとキネでやったもんだ。」

「なつかしいねえ。」とか「キネの音がいいねえ、いいもちができるよ。」などなど、利用者様どうしでお話されていました。おもちになっていくのを楽しそうに間近で見られておられました。

いよいよおもちができあがると、2Fにもどり、

「あんこ」「おろし」

「しょう油マヨネーズ」の味付けで、お昼にいただきます。

「美味しいね。」

「ついたおもちは一味違うね。」とお話されていました。

なかにはお替わりをされる方もいました。師走の笑顔があふれる風食になりました。



おねがい

使い古しのシーツや

服などがあれば、最寄

りの「ひなたぼっこ」にご寄贈ください。感染症対策で、汚物を拭き取るのに使用します。使い捨てしなくてはいけないので、いくらあっても助かります。



利用者様の文芸作品 俳句編

「照ちゃん」に 子どもの頃の笑顔見せ

友がいて 朝夕楽しく くるみ拾い

すずめ来て 仲良く餌を ほうばって

朝顔や 朝の挨拶 揺れ動く

グループホームのみなさんの昨作品より

発行 社会福祉法人ひなたぼっこ

理事長 森 正明

〒399-0211

富土見町富土見1-650-1

TEL 0266-61-2335

FAX 0266-61-2336